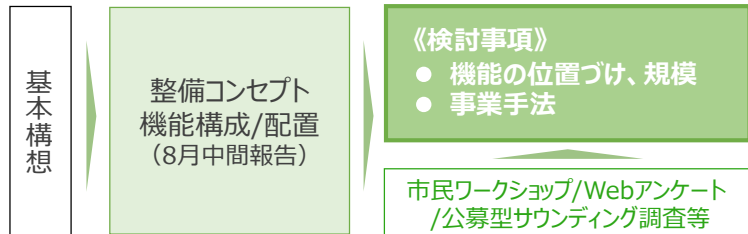


1. はじめに

旧スマイルビル周辺及び旧小林ビルの整備計画及び事業計画の検討にあたっては、滝川駅周辺地区再生整備基本構想に基づき、市民ワークショップ「居場所づくり会議」や民間事業者への公募型サウンディング調査、webアンケート等の結果を踏まえ、整備する機能の位置づけ、規模、事業手法等を設定します。



● 市民ワークショップ「居場所づくり会議」

幅広い世代の市民ニーズや意見を把握するため、次のとおり公募型のワークショップを開催しました。 ※8月以降実施分を掲載

	日時・場所	内 容 (テーマ)
第3回	日時：令和6年8月22日(木) 18:00～20:00 場所：滝川市民交流プラザ	(仮称)駅前交流施設の活用イメージを考える ～各世代ごとの具体的な使い方は？～
第4回	日時：令和6年9月25日(水) 18:00～20:00 場所：滝川市民交流プラザ	(仮称)駅前交流施設の企画・運営方法を考える ～より良い施設にするためにはどのように企画・運営をしていったらよいだろう？～

● 民間活力導入可能性調査（公募型サウンディング調査）

民間事業者の参加意向と事業条件等を把握するため、公募型サウンディング調査を実施しました。

調査時期	令和6年9月2日(月)～30日(月)
調査方法	紙面調査
参加企業	12社（建築設計2社、内装設計・施工2社、建設2社、運営2社、統括管理等3社、まちづくり会社1社）

● Webアンケート

滝川駅周辺地区再生整備事業について、幅広くご意見・アイデアを募集するため、web上で意見を記入することができるアンケートを実施しました。

実施時期	令和6年9月9日(月)～10月11日(金)
意見数	106件

2. 整備計画

2－1 （仮称）駅前交流施設・（仮称）駅前野外交流広場

（1）整備する機能・規模

市民意見等を踏まえ、（仮称）駅前交流施設及び（仮称）駅前野外交流広場における機能と規模を次のとおり整理しました。

※各諸室における詳細、規模については、今後実施する設計にて検討を予定。

（仮称）駅前交流施設

ホール

【多様な活動を支える多目的なホール】

- ・芸術文化活動や多様な市民活動における発表、鑑賞の場となるホール。
- ・多様な活動に対応できるよう可動式の座席を想定。また、芸術文化活動に必要な舞台空間や音響・照明設備、機材倉庫のほか、親子観覧席、身障者席（バリアフリー）を整備。

＜主な活用例＞
・吹奏楽、合唱、演劇等の練習、演奏会
・映画上映、シアター
・集会、講演会、コンベンション 等

体験して
“学ぶ・楽しむ”

交流ロビー（コミュニティラウンジ）

【色々な"ヒト・コト"に出会える"居場所"】

- ・多様な世代がみんなでワイワイと、また、一人で静かに、色々な"ヒト"や"コト"に出会う"居場所"となるコミュニティラウンジ。
- ・各機能と繋がるよう諸室との動線を確保。また、未就学児が安心して遊び、保護者が見守りながら交流することができるような空間を整備。

＜主な活用例＞
・友人との談笑
・観光客の休憩
・作品展示（ギャラリー）
・勉強、仕事
・電車、バスの待合
・可動式ライブラリー 等

その場所で
“ゆるくつながる”

多目的室

【多目的で可変性のあるフリースペース】

- ・交流ロビー（コミュニティラウンジ）や野外交流広場で過ごす人々、また、市外からの来街者が“繋がる”観光交流の場となるフリースペース。
- ・平土間形式による空間とし、交流ロビー（コミュニティラウンジ）との一体利用ができるよう出入口部分を開放的に、また、天井を高くすることで開放感のある空間を整備。
- ・音楽利用も可能とするよう音響や防音性能にも配慮。

＜主な活用例＞
・地元物産展示
・可動式遊具によるキッズパーク
・パブリックビューイング
・ホール公演リハーサル 等

いつも誰かと
“集まる”

会議室・スタジオ

【使い勝手の良い活動の場】

- ・地域で活動するサークルや団体の交流の場となる会議室・スタジオスペース。
- ・施設全体の開放性や防犯性、また、利便性を高めるよう利用人数に応じて規模を調整できる間仕切り(可動式)とし、また、野外交流広場や共用部（廊下等）から室内が見えるような整備を想定。
- ・会議室については、ホール公演時に楽屋(控室)として利用できる動線、機能を整備。
- ・スタジオについては、防音性能に配慮。

＜主な活用例＞
・各種サークル活動
・音楽スタジオ
・セミナー
・楽屋、控室 等

いつも誰かと
“集まる”

チャレンジスペース

【駅前の賑わいに波及する飲食・物販スペース】

- ・新たな"滝川の顔"となる施設の魅力を高め、観光客や施設利用者の快適性や利便性の向上に寄与する飲食・物販スペース。
- ・交流ロビー（コミュニティラウンジ）、野外交流広場と連携した使い方に配慮するとともに、駅周辺地区の賑わい創出に寄与するよう施設利用者のみならず外部からも利用できる動線を確保。

＜主な活用例＞
・カフェ
・売店、地元物産販売 等

魅力づくりに
“挑む”

まちの案内所

【まちの魅力を発信する拠点】

- ・滝川の観光情報や、滝川のお土産、店舗などを紹介する情報発信コーナー。
- ・交流ロビー（コミュニティラウンジ）や多目的室と連携できるよう動線を確保。

＜主な活用例＞
・観光案内所
・情報発信コーナー 等

まちの魅力を
“感じる”

（仮称）駅前野外交流広場

野外交流広場

【滝川の顔にふさわしい多目的広場】

- ・日常的な市民の憩いや遊び場、また、様々なイベントが開催される場となる屋外広場。
- ・キッチンカーや屋台等の出店、また、臨時駐車場に対応できるよう舗装、電源、給排水設備等を整備。
- ・緑陰を生む植栽や芝生等のほか、（仮称）駅前交流施設と連続性・一体性を生む整備とするなど、積雪寒冷地に適した広場空間を整備。

＜主な活用例＞
・親子でくつろぐ、ソリ滑り
・交流ロビー(コミュニティラウンジ)や多目的室との一体利用による音楽イベント
・ビアガーデンやキッチンカー等の飲食イベント 等

まちの魅力を
“感じる”

（仮称）駅前交流施設

機 能	規 模	備 考
ホール	約 1,310㎡	舞台、客席（500～600席程度）、親子室、倉庫、音響・調整室 等 ※参考 旧文化センター 大ホール：約1,160㎡ （内訳）・客席(1F 717席分) 約520㎡ ・ステージ 約340㎡ ・楽屋、袖、廊下等 約300㎡
交流ロビー（コミュニティラウンジ）	約 700㎡	
多目的室	約 250㎡	※参考 旧文化センター2F会議室：約200㎡ 3F小ホール：約380㎡
会議室・スタジオ	約 290㎡	※参考 まちづくりセンターみんくる 交流スペース：約160㎡ 会議室A：約90㎡ 多目的室：約90㎡
チャレンジスペース	約 40㎡	※参考 市役所売店：約15㎡
まちの案内所	約 40㎡	※参考 観光国際スクエア交流ロビー：約120㎡
その他	約 1,170㎡	事務室、便所、機械室等
合 計	約 3,800㎡	敷地内駐車場 約20台 ※参考 旧文化センター 約4,480㎡

（仮称）駅前野外交流広場

機 能	規 模	備 考
野外交流広場	約 2,000㎡	※参考 旧スマイルビル南側広場（公開空地）：約600㎡ 平和公園：約4,100㎡

（２）ゾーニングと配置

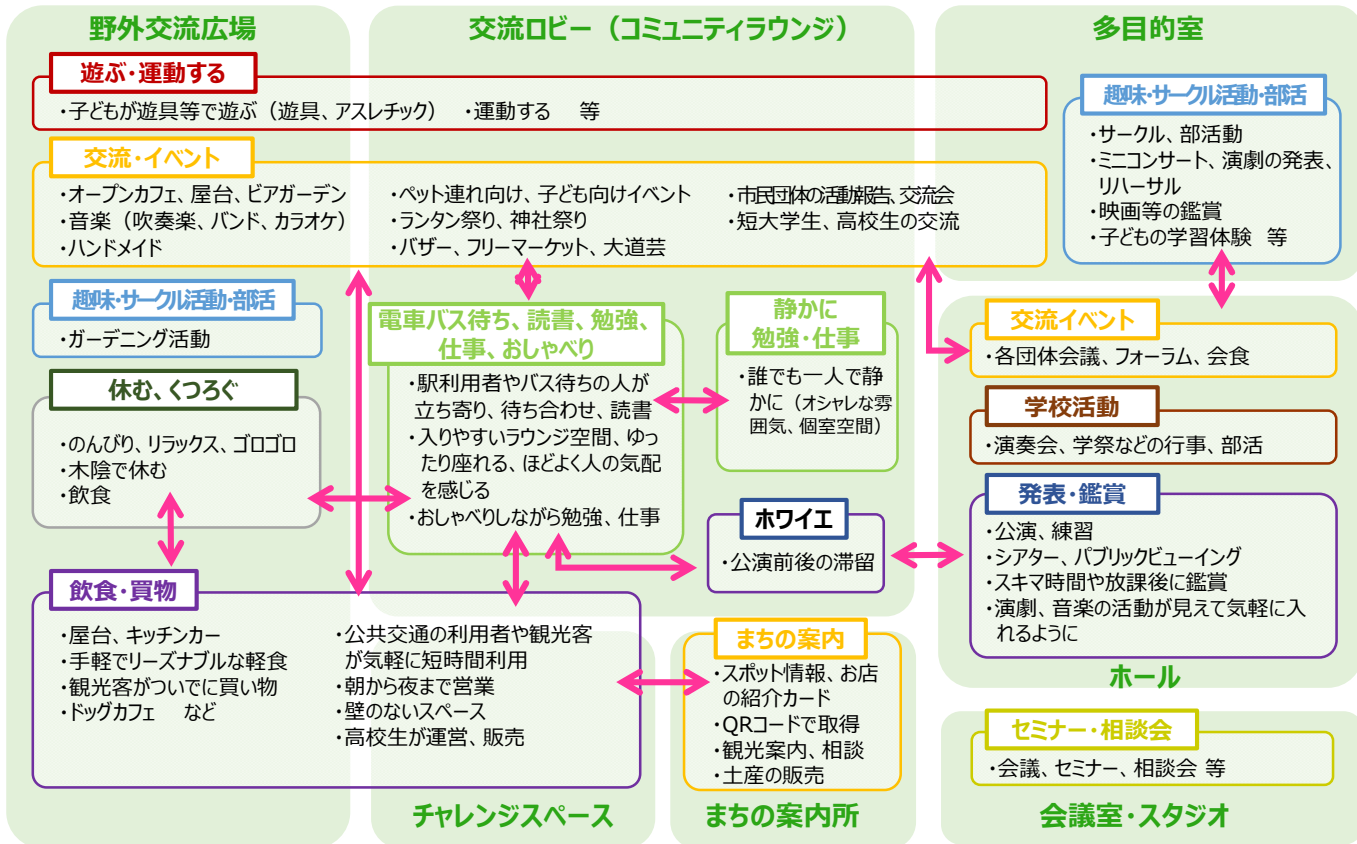
市民意見等から、この施設で行いたい「活動」に基づき、各機能のゾーニングを整理しました。

※詳細については、今後実施する設計にて検討を予定。

【ゾーニングの基本的な考え方】

- 交流ロビー（コミュニティラウンジ）は、各機能をつなぐ役割を担う。
- 野外交流広場、交流ロビー（コミュニティラウンジ）、多目的室は、一体的な利用を可能とする。
- チャレンジスペース、まちの案内所と交流ロビー（コミュニティラウンジ）は一体的な空間とする。

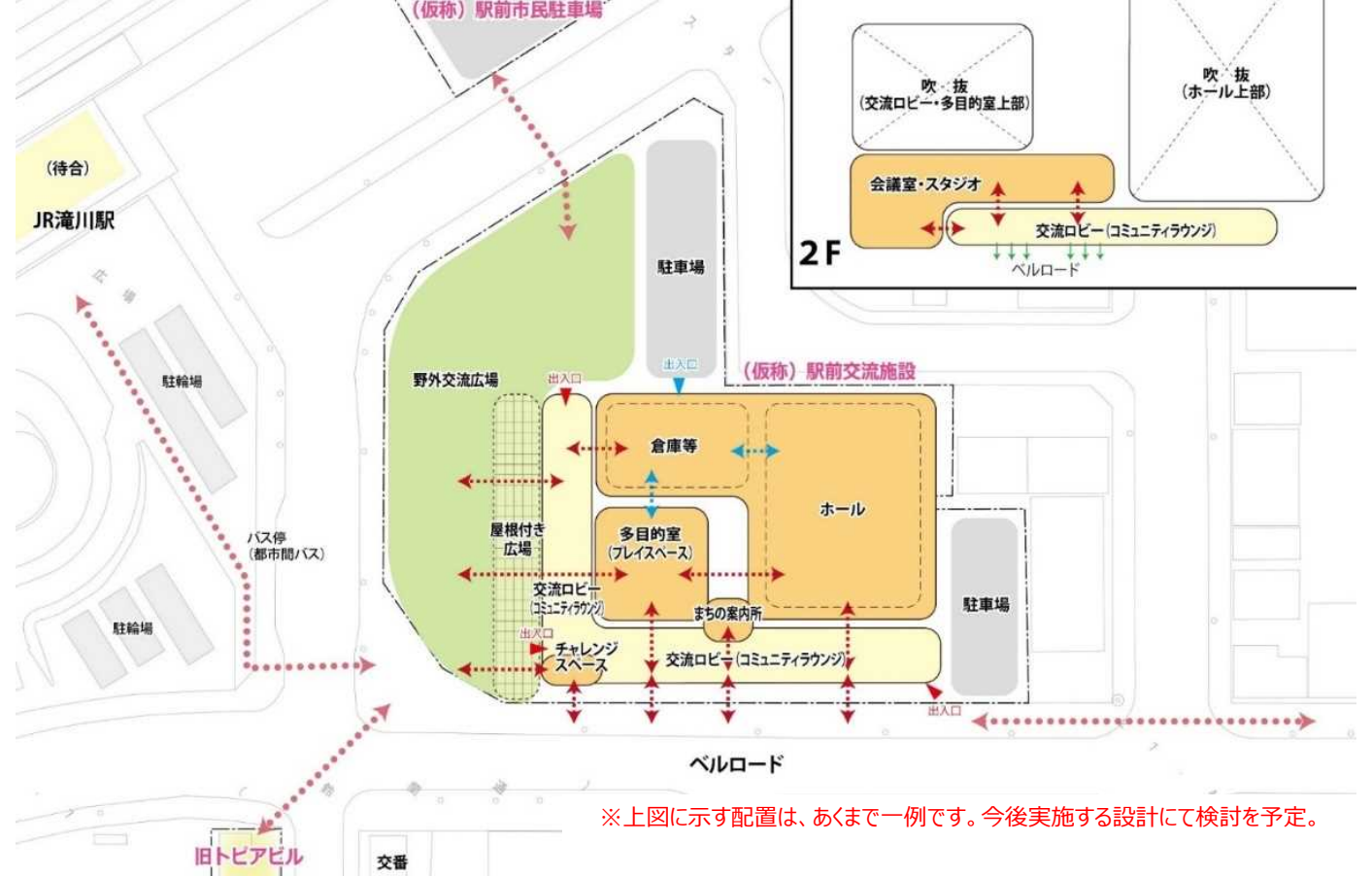
《各機能のゾーニング》※下記記載事項は、ワークショップ等の意見であり、あくまで使い方や活動イメージの例。



【配置の基本的な考え方】

- JR滝川駅前に面して野外交流広場を配置するなど、駅前に相応しい滝川の顔づくりを行う。
- 交流ロビー（コミュニティラウンジ）は、野外交流広場とベルロードから活動の様子が視認できるよう配慮する。
- 施設出入口は、JR滝川駅、ベルロード、（仮称）駅前市民駐車場からアクセスしやすい位置に配置する。
- バック機能は、ホールと多目的室への搬入動線を考慮して配置する。

《配置のイメージ》



※上図に示す配置は、あくまで一例です。今後実施する設計にて検討を予定。

2-2 （仮称）駅前市民駐車場

市民駐車場

【交通結節機能を強化する駐車場】

- “まちなか”に訪れる人々の利便性や快適性、滝川駅周辺地区のアクセス性を高め、多くの人を地区内に呼び込む市民駐車場。
- 平面駐車場の整備を想定。
※料金設定等は今後検討。

＜主な活用例＞
・まちなかへの買い物
・広場や交流施設への来訪 等

いつも誰かと
“集まる”

規 模
約 3,100㎡（約100台）
※参考 駅周辺地区内駐車台数（月極駐車場除く） ・JRパーク&トレイン 50台 ・まちづくりセンターみんくる 96台 ・駅前商店街お買い物無料駐車場 84台 計 230台

2-3 （仮称）交流広場

ポケットパーク

【新たなコミュニティを育む交流スペース】

- （仮称）駅前交流施設や（仮称）駅前野外交流広場と連携する、市民の新たなコミュニティの場となるポケットパーク。
- コンテナハウスやキッチンカーエリア等の商業空間の整備を想定。

＜主な活用例＞
・野外交流広場と連携したイベント
・ペット同伴飲食スペース
・チャレンジショップ 等

規 模
約 1,040㎡

2-4 （仮称）まちなか自由空間

ポケットパーク

【まちなか再生のきっかけとなるフリースペース】

- ストリートカルチャーやアーバンスポーツなど、誰もが自由に遊べる、憩いの場となるポケットパーク。
- 休憩スペースやイベント等も可能な開放的な舗装空間を整備を想定。

＜主な活用例＞
・スケボー
・ストリートパフォーマンス
・キッチンカーイベント 等

規 模
約 580㎡

3. 事業計画

3－1 民間活力導入可能性調査（公募型サウンディング調査）

本調査については、滝川駅周辺地区再生整備事業に関心がある民間事業者等を対象として、整備する機能と規模、配置モデル等に対する意見や活用アイデアのほか、民間収益施設導入の可能性、事業手法、また、参画意向や事業条件等に関し、公募型のサウンディング調査を実施しました。

《調査結果概要》

- 調査時期 R6.9.2～9.30
- 参加企業 12社
- 調査方法 紙面調査
- (建築設計2社、内装設計・施工2社、建設2社、運営2社、統括管理等3社、まちづくり会社1社)

〈民間収益施設導入の可能性〉

- ・コンビニエンスストアについては、店前に駐車場(専用)を必須としている現状からも、(仮称)駅前交流施設敷地内の整備は難しい。
- ・民間収益施設については、立地条件等からも実現性の高い積極的な提案や参画意向はなく、独立採算も見込まれず、単独出店の可能性は低い。一方、DBO方式による事業において、運営事業者との連携による出店の可能性はある。

〈事業手法・参画意向及び条件〉

- ・(仮称)駅前交流施設、(仮称)駅前野外交流広場については、PPP手法のうち、DBO方式が望ましいとの意見があり、参画意向もあることから実現の可能性がある。
- ・(仮称)交流広場、(仮称)まちなか自由空間については、公共によって物件取得、解体、整備を実施しなければ、民間事業者による参画の可能性は低い。

〈今後に向けて〉

- 引き続き民間事業者との対話を実施しつつ、民間事業者の参画を促すような検討が必要。
- 事業手法の選定にあたっては、管理運営に必要な費用も含めた全体事業費による比較検討のほか、運営によるサービス水準等も考慮した上で、選択することが必要。

3－2 事業手法

(1) 想定される事業手法

基本構想では、「公設公営」、「公設民営」、「公設民営（DBO）」、「民設民営（PFI）」の4つの手法を比較したところですが、「PFI方式」については、SPC設立に関する費用や割賦金利といったPFI特有の費用によって事業費削減効果が得られない可能性があり、上記調査結果においても積極的な参画意向がない現状です。

このことから、想定される事業手法については、「従来方式（公設公営/民営）」と「DBO方式」のほか、設計と管理運営を一括発注し、分離発注した施工業者に技術協力（VE提案）を求めることで事業費の削減効果を図る「DO+ECI方式」を対象とし、比較検討を行います。

	概要	資金調達	設計	施工	管理運営	施設所有
従来方式	・公設公営方式は、公共が施設の設計、施工、運営、維持管理を民間事業者等と個別に契約。 ・運営については、公共が直接管理運営を行うほか、管理運営業務の一部または全部を民間事業者等に委ねる方式がある。	市	市 分離発注 設計	市 分離発注 施工	市 直営 or 指定管理 民間	市
DO+ECI方式	・DO方式は、施設の所有権は公共が保有し、資金調達も公共が行うが、施設の設計と管理運営を一括して民間事業者等に委託する方式。 ・ECI方式は、実施設計段階から施工者が参画し、技術協力を行う方式。施工者の技術力を設計に活かし、設計段階から施工の事前検討が可能のためスケジュールの短縮、VE提案などによるコストの縮減につながる。	市	民間 設計・管理運営を一括発注 設計	民間 設計・管理運営を一括発注 技術協力 施工 施工は分離発注・実施設計段階から技術協力	民間 管理運営	市
DBO方式	・DBO方式は、施設の設計、施工、管理運営を一括して民間事業者に委託する方式。 ・発注段階において、運営まで含めた契約条件を規定することで、施設の設計、施工、管理運営に関する責任を民間事業者とすることが可能となるとともに、民間事業者の創意工夫が発揮しやすくなり、業務の効率化が図られる。	市	民間 設計・施工・管理運営を一括発注 設計・施工・管理運営一括	民間 設計・施工・管理運営を一括発注 設計・施工・管理運営一括	民間 設計・施工・管理運営を一括発注 設計・施工・管理運営一括	市

(2) 事業手法の比較と評価

		従来方式	DO+ECI方式	DBO方式
民間ノウハウの活用		△分割・仕様発注のため、運営に配慮した施設にはなりにくい	○設計に運営ノウハウ、施工技術の反映が可能	◎一括提案により、設計から運営まで配慮した施設となることが期待できる
発注事務		△分割発注となるため、都度事務手続きが必要 ○通常の発注事務のため、これまでのノウハウで対応可能	○設計・運営を一括発注することで一定の事務負担は削減されるが、建設は別発注となるため、公募が2回必要	◎設計・建設・運営を一括で発注するため、発注手続きが一度で済む ○PFI法に縛られないことから、公募手続きの簡略化が可能
事業の安定性	リスク分担	△原則、全て市のリスク	△建設事業者と運営事業者が別となるため、リスク分担が複雑	○市と事業者のリスク分担となり、契約上も責任の所在が比較的明解
	事業継続性	○運営状況に関わらず事業継続可能	○長期運営による継続性リスクはあるが、適切なモニタリングにより対応可	
財政負担		△分割発注のため一括化によるコスト低減が期待できない ○公募関連の調査費が発生しない	○設計・運営の一括化による運営維持管理コストの低減は期待できるが、建設が分割発注のため、一括化による建設コスト低減の期待が薄い △公募関連の発注者支援業務費用が発生	◎設計・建設・管理・運営の一括化によるコスト低減が期待できる △公募関連の発注者支援業務費用が発生
実現性	参画意向	◎従来通りの発注方式であり、確実な設計・施工・運営が実施可能	△サウンディング調査にて、DO方式での参画意向は確認できなかった	◎サウンディング調査にて、事業者の参画意向を確認できた
	スケジュール	◎従来型の発注手続きにより、着実な実施が可能	△公募期間が2回に分かれるため、事業実施期間が長期に亘る △建設事業者選定時に設計変更等によるスケジュール遅延リスクがある	◎設計・建設を一体で行うため工期短縮が期待できる
VFM (定量評価)		1 0 0 . 0	9 5 . 3～9 7 . 3 (従来方式を100とした場合)	9 1 . 5～9 5 . 5 (従来方式を100とした場合)
総合評価		○	△	◎

(3) 事業手法の方向性

- (仮称)駅前交流施設、(仮称)駅前野外交流広場については、サウンディング調査において、民間事業者によるDBO方式への参画意向が示されていることを踏まえ、**DBO方式を基本として検討**を進めます。
- (仮称)駅前市民駐車場については、官民連携に関する参画意向はなく、事業内容からも事業費削減効果が比較的小さいことが想定されることも踏まえ、**従来方式（公設公営/民営）を基本として検討**を進めます。
- (仮称)交流広場、(仮称)まちなか自由空間については、DBO方式への参画意向はなかったが、管理運営への参画意向が示されていることを踏まえ、**従来方式（公設民営）を基本**として検討を進めることとし、今後、**市が物件の取得を進めます。**

3－3 概算事業費 ※従来方式による算定

費目	(仮称)駅前交流施設 (仮称)駅前野外交流広場	(仮称)駅前市民駐車場	(仮称)交流広場 (仮称)まちなか自由空間	備考
調査設計費	約 3.3億円	約 0.1億円	約 0.1億円	
土地整備費	約19.1億円	約 1.7億円	約 3.9億円	解体関係費
工事費	約36.9億円	約 0.7億円	約 0.5億円	施工関係費
合計	約59.3億円	約 2.5億円	約 4.5億円	

事業費における財源については、国の各種補助・交付金制度（国土交通省：都市構造再編集中支援事業 補助率50%）や地方債制度（公共事業等債（90/20）、公共施設等適正管理推進事業債（90/50））の積極的な活用を目指します。

参考資料 1 市民ワークショップ「居場所づくり会議」の実施結果

第3回 居場所づくり会議

日 時：令和6年8月22日（木）18:00～20:00
場 所：滝川市民交流プラザ
出席者：21名
傍聴者：15名

概 要：

1. 開会
2. 趣旨説明
3. 第1回～第3回WSの振り返り
4. ゾーニングの説明
5. グループディスカッション

（仮称）駅前交流施設の活用イメージを考える
～各世代ごとの具体的な使い方は？～

〈テーマ〉

（仮称）駅前交流施設の各世代の具体的な
使い方とそれを実現するための機能の関係性
について考えよう！

〈テーマ①〉

（仮称）駅前交流施設での過ごし方とそれを実現するためにあったら嬉しい
空間を考えてみよう！

〈テーマ②〉

テーマ①をもとに、それぞれの導入機能の関係性について議論してみよう！

6. 休憩
7. 発表
8. 小篠先生からのコメント
9. 閉会

▼グループディスカッションの様子

Aグループ



Bグループ



Cグループ



Dグループ



Eグループ



各グループ発表を踏まえた総評（概要）

- ・イメージの写真を使いながら施設で行う活動がどう空間イメージと結びつくのかを考え、自分たちの言葉で整理したことはよかった。
- ・同じ場所で同時に色々な活動が行われているという状態が居場所づくりや新たな滝川の顔づくりにつながっていけばよいと思うが、特に新たな滝川の顔づくりにどうつながるかは今日の話し合いでは見えてこなかった。

➡ 今日話し合った「同じ場所で色々な活動が行われている状態」が新たな滝川の顔づくりにどうつながっていくかについて今後より深めた検討をしていく必要がある。

第4回 居場所づくり会議

日 時：令和6年9月25日（水）18:00～20:00
場 所：滝川市民交流プラザ
出席者：19名
傍聴者：15名

概 要：

1. 開会
2. 趣旨説明
3. 第1回～第3回WSの振り返り
4. ゾーニングの説明
5. グループディスカッション

（仮称）駅前交流施設の企画・運営方法を考える
～より良い施設にするためにはどのように企画・運営していったらよいだろう？～

〈テーマ〉

（仮称）駅前交流施設が「私たちの居場所」
として、常に賑わいや交流が生まれるために、ど
のような工夫・企画があると良いか？

〈テーマ①〉

ホール・多目的室の様々な使い方と、いつも誰かがいる工夫・集まるしかけ、
必要な設えを考えてみよう！

〈テーマ②〉

（仮称）駅前交流施設で、あなたはどのようなイベント・企画をやってみたい
ですか？ テーマ①で話し合った使い方・企画を詳しく考えてみよう！

6. 休憩
7. 発表
8. 小篠先生からのコメント
9. 閉会

▼前田市長の挨拶



▼グループディスカッションの様子

Aグループ



Bグループ



Cグループ



Dグループ



各グループ発表を踏まえた総評（概要）

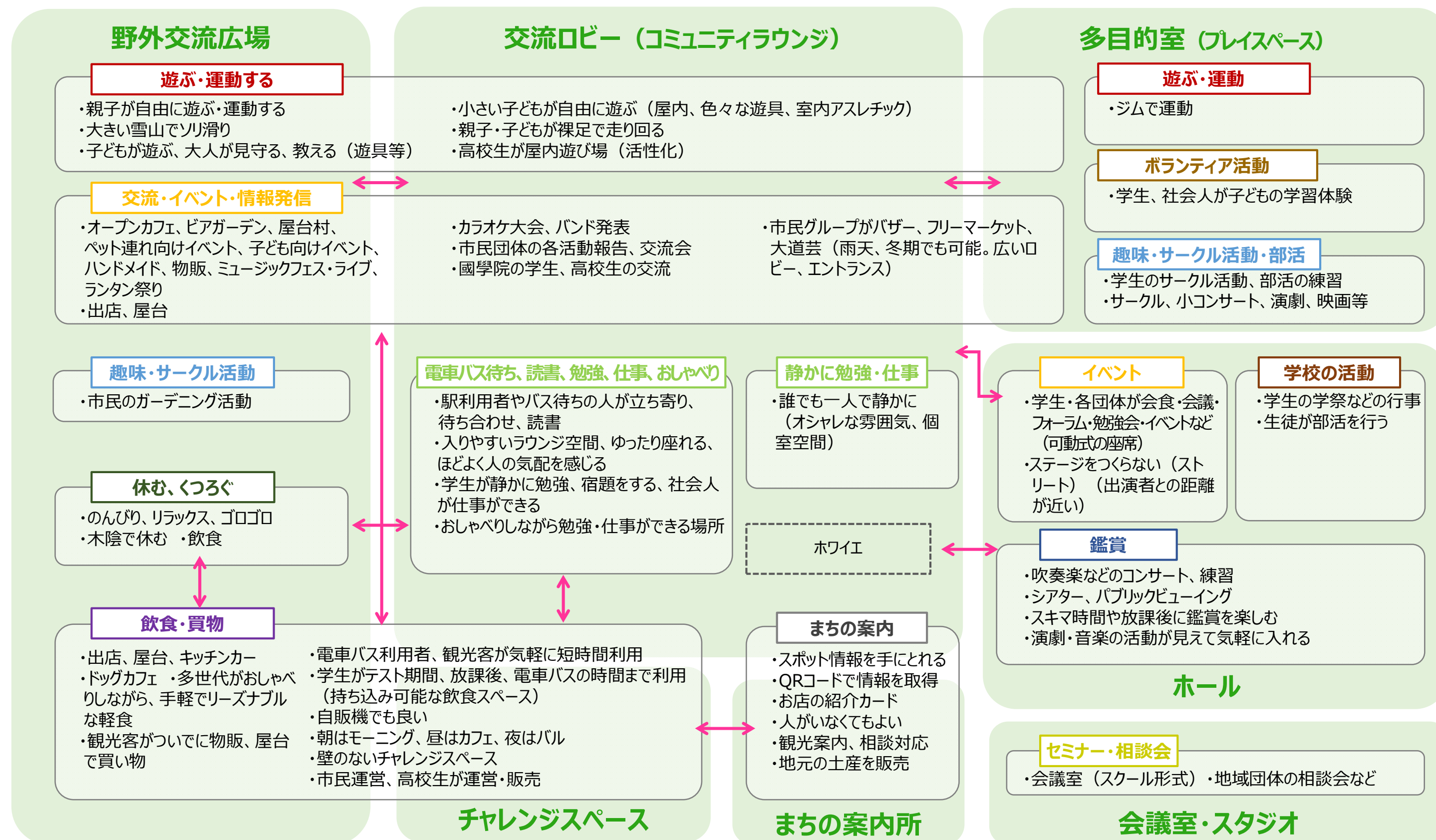
- ・イベントを運営するには皆さんが主体となって行っていく必要があり、今から運営組織を作っておく必要がある。
- ・「駅前にあり滝川の顔である」施設がどう施設なのかについては課題が残る。
- ・若い人にシビックプライドを持ってもらうためには教育機関の連携が必要で、連携の仕組みを構築するのは行政の役割である。
- ・単なる文化施設でなく、最終的には人口施策につながっていく施設である、と考えると可能性が広がる。
- ・施設だけでなく、周りのまちなかへの波及効果についても考えていく必要がある。

➡ 今回の施設づくりは、一つ一つがすべて滝川のまちづくりの根幹につながる大切なことであると感じている。みんなの力で作り上げ、使い、運営していくような施設になればよい。

第3回 居場所づくり会議「（仮称）駅前交流施設の活用イメージを考える～各世代ごとの具体的な使い方は？～」

ディスカッションテーマ：（仮称）駅前交流施設の各世代の具体的な使い方とそれを実現するための機能の関係性について考えよう！

（仮称）駅前交流施設に導入予定の各機能での過ごし方と機能の関係性について検討を行いました。



第4回 居場所づくり会議 「（仮称）駅前交流施設の企画・運営方法を考える～より良い施設にするためにはどのように企画・運営していったらよいだろう？～」

ディスカッションテーマ：（仮称）駅前交流施設が「私たちの居場所」として、常に賑わいや交流が生まれるために、どのような工夫・企画があると良いか？

～テーマ①：ホール・多目的室の様々な使い方と、いつも誰かがいる工夫・集まるしかけ、必要な設えを考えてみよう！

テーマ②：（仮称）駅前交流施設で、あなたはどのようなイベント・企画をやりたいですか？ テーマ①で話し合った使い方・企画を詳しく考えてみよう！～

テーマ①：ホール・多目的室の多様な使い方と人が集まるための工夫点・設えについて検討を行いました。

		使い方			工夫点・設え		
日常的	午前	遊ぶ 遊具場（室内） 施設内を巡る障害物競走 子どもの遊び場（AM・PM）	健康づくり 100才体操 ジム系の器具トレーニング	気軽に過ごす お母さんと子どもが気軽にこれる 市民向け おひとり様ランチ会（ディナーも有）	気軽に音楽 ストリートピアノ ストリートミュージシャン ストリートライブじゃなくて、フリーホールライブ	ホール 滝川だと100席ぐらいいらい？ 可動式のイスに 可動席 なんでもつかえるホール	仕切り、可動式 小にも→大にも同時に使えるように防音対策も 規模を4、500人じゃなくて、800人ぐらいにしてほしい 滝川の全校生徒が600～700人 ホールの床を体育館仕様の床にしてほしい
	午後	映画鑑賞 映画上映会 休日映画館	教室 手づくり作家さんのフェスタ ヨガ教室 料理教室	読書 第2図書館 学校の活動 学校向け 貸教室（AM・PM） 部活の練習 部活動の自主練、体育祭の練習	滝川の展示 四季に応じた滝川展示（滝川紹介） 空と宇宙の展示 菜の花コーナー（4～5月）	多目的室 半個室空間 外から見える教室 いつでも市内のサークル団体・個人の作品展示	
	夜間	学生による活動 学生café（市内高校生・短大つながり）	文化鑑賞 演劇鑑賞 ちゃんとしたクラシック。	イベント 新聞や読書する会 WS 学識者交流、スポーツ体験会、ボッチャ・モルックなど	備品・設備 備品 手軽な設備（誰でも簡単に）映像をみるとか、音楽をかけるとか 充電可（全てに共通） 電子決済 wi-fi フリー楽器 oneドリンクoneおかし	広場 ガーデニング・花壇 運営の工夫 有償ボランティアにきってもらう（大学生・短大）（みんなで宿題会） 市民みんなが使えるには料金を格安にすべき（全てに共通）	
イベント等		スポーツ 体育館として開放 スポーツ 卓球、バドミントン、テニス？	待っ （特に）タクシー待ち	イベント WS 学識者交流、スポーツ体験会、ボッチャ・モルックなど	イベント WS 学識者交流、スポーツ体験会、ボッチャ・モルックなど	イベント WS 学識者交流、スポーツ体験会、ボッチャ・モルックなど	
		学生・子供のイベント 学生の部活動やサークルの発表 演奏会 滝川+高校の吹奏楽 高校の学校祭 年配⇄子ども 交流できる	学生・子供の滝川PRイベント 学校関係でつかえるホール 高校～交流 幼稚園とか運動会もいっしょに	季節のお祭り 滝川春祭り 季節のデコレーション（クリスマスツリーなど） 冬・夜・外ランタンと共催 プラネタリウム	季節のお祭り 滝川春祭り 季節のデコレーション（クリスマスツリーなど） 冬・夜・外ランタンと共催 プラネタリウム	季節のお祭り 滝川春祭り 季節のデコレーション（クリスマスツリーなど） 冬・夜・外ランタンと共催 プラネタリウム	
		市民のイベント 市民文化祭 51回目 市内のサークル・団体の発表の場	文化団体の発表会（個別団体の活動） ミーティングブルー（市民活動報告会）	文化芸術イベント 民謡・日舞などなど 落語	コンサート コンサート アートステージ空知 JAZZやバンドコンサート	文化芸術イベント 民謡・日舞などなど 落語	

テーマ②：各班から以下のようなイベントのアイデアが出されました。

Aグループ

タイトル

もりもりたきかわ

サブタイトル

滝川の魅力大集結

内容

- ・地元のお店が出店するマルシェの開催
- ・キッチンカー
- ・学生の部活動・サークル活動の発表
- ・各企業のフェア

ターゲット

- ・観光客
- ・地元の人
- ・出店企業

主催・協力体制

- ・商店街のお店の方
- ・ボランティア・青年会議所
- ・商工会議所青年部
- ・学校・生徒会

Bグループ

タイトル

夏祭り

サブタイトル

自分たちの滝川まつり

内容

- ・映画上映会・キッチンカーの出店
- ・施設内を巡る障害物競走
- ・しびき祭りの行燈づくりを市民主体で現代風にアレンジして復活

ターゲット

- ・市民メインだが観光客も参加可能

主催・協力体制

- ・ボランティアで高校生にも入ってもらう
- ・市民主体で皆で運営
- ・商店街の方
- 運営参加を通して交流を育む

Cグループ

タイトル

みんなでワイワイ祭り

サブタイトル

秋～体育祭ウィーク 食は欠かせない

内容

- ・学校の活動を発表して市民に見てもらう
- ・身体の不自由な人もできるアダプテッドスポーツやeスポーツ

ターゲット

- ・高齢者
- ・若者
- ・子供

主催・協力体制

- 【主体】
- ・高校生徒会と大学生
- 【サポート】
- ・市民ボランティア

Dグループ

タイトル

TACF
T:たきかわ A:オータム、
C:カルチャー F:フェスティバル

サブタイトル

- ・市民文化祭
- ・ALL滝川
- ・滝川市民の滝川市民による滝川市民のための
- ・あなたもスターになれます

内容

- ・プロアマ問わないミュージシャンによる演奏会
- ・市民による吹奏楽
- ・楽器体験
- ・市民活動の発表会
- ・地場産品の販売

ターゲット

- ・全世代の市民

主催・協力体制

- ・実行委員会
- ・文化連盟とコラボした団体
- ・音楽イベントをしたことのある人
- ・各文化団体から数人選抜

参考資料2 民間活力導入可能性調査（公募型サウンディング調査）の実施結果

結果概要 調査時期：令和6年 9月2日（月）～ 9月30日（月） 調査方法：紙面調査 参加企業：12社（建築設計2社、内装設計・施工2社、建設2社、運営2社、統括管理等3社、まちづくり会社1社）

質疑内容			ヒアリング結果（主な意見）
大項目	中項目	小項目	
モデルプランについて	再生拠点全体における機能配置		- 駅・駅前交流施設・街が一体的になると良い。 - 駅前道路の廃止検討が可能であれば、駅への動線がつながり、より再生整備事業として魅力あるものになると感じる。
	（仮称）駅前交流施設	配置・ゾーニング・動線	- 大きなスペースは、用途を限定せず、多目的にフレキシブルに利用できる工夫が必要。 - 施設内の人は街側に出たくなる、街側にいる人は施設に入りたくなる仕組みがあると良い。 - エレベーター設置を検討出来たら良い。 - カフェ等の滞在空間は屋外広場に面して設けた方がいい。 - ホールにおける開場前の客だまりと、終演後の退場動線が十分確保されたゾーニングが望ましい。 1階は施設の顔として、開かれたロビー及び賑わいや交流を生むスペースとした方が良い。 - 野外交流広場と駅前交流施設との一体感を考慮すべき。
		各機能	- ホールを利用する団体・誘致をしたいイベントに合わせて仕様・性能等検討が必要。 - 災害時などの避難場所としての活用有無も含めて、交流施設におけるホールの使われ方を整理することが必要。 - 会議室・スタジオは、専用利用の頻度やニーズを想定し規模などを決定する必要がある。専用時間が少なければ、その時間帯を開放して有効活用できる。 - 会議室は、小さく仕切って多目的に同時利用できる工夫があると良い。 - 多目的室は、有料スペースとするか無料スペースとするかの考え方により、規模や設備の考え方も変わってくると考えられる。
	（仮称）駅前野外交流広場		- 駅前広場との一体感を創出するデザインが望ましい。 - 駅前、ベルロード、多目的室とのつながりを創出するため、駅前道路の方向性を踏まえた配置検討が必要。一時的に道路を使用して歩行者空間にしたり、可能なら廃道も検討できると良い。 - 野外イベント時に利用できる電源・水道等の設置が必要。 - 冬期間利用に備え、除排雪、堆雪スペース、ヒーティング等に関する検討が必要。 - 積極的に市が関与するイベントを開催し、エリアの認知度を高め、人に来てもらう取り組みが必要。
	（仮称）駅前市民駐車場		現在の想定台数では、駅前交流施設のホールや多目的室等でのイベント開催時に不足することが懸念される。余裕ある台数整備が必要。
	（仮称）交流広場・（仮称）まちなか自由空間		- ポケットパークの一部にコンテナハウスやトレーラーショップ等による商業展開。 - 野外交流広場と連携したソフト事業の展開。
民間収益施設について			- テナント誘致のためには、いずれも駐車場があることが前提になる。特にコンビニについては、店前に駐車場(専用)があることが必須条件となる。 - 民間事業者が整備費や建物賃料を負担し、その上で独立採算とすることは難しい。 - DBO事業とした上で、収益事業を独立採算とし、一部供用機能をDBO事業費でカバーすることができるのであれば、収益施設導入の検討がしやすい。 - 事業性にもよるが、施設全体の運営事業者との連携でフランチャイズチェーン店等を誘致する手法がよい。
業務内容について	業務範囲		- 事前調査業務が含まれる場合、事前調査の結果により事業コストに大きく影響があると考えられる。 - 修繕・更新業務については、老朽化に伴う部分、事業期間に伴う機器更新など、明確に業務範囲を示す必要がある。
	既存建造物の解体		解体工事含め一括発注し、効率の良い施工計画を立案することで、事業費縮減・工期短縮につながると考えられる。
事業手法について			（駅前交流施設） - 行政の負担軽減やコスト削減からも、DBO方式など、PFI手法によらないPPP手法の採用が望ましい。 - SPCの組成について、DBO方式等の場合は組成を必須にする必要はないと考える。 - 事業期間について、運営期間は、運営事業の安定性を考慮し、一定程度長期間確保されることが望ましい。事業者選定期間は、4～6ヶ月、運営期間は10～15年程度が望ましい。 （交流広場・まちなか自由空間） - 公共による整備（物件取得、解体、ポケットパーク整備）が実施された後、広場の全体や一部の運営主体として民間事業者が関与することが望ましい。
リスク分担について			物価変動リスクについて、昨今の物価高騰、人材不足、人件費高騰を踏まえる必要がある。
事業費について			PPP手法の採用で、従来方式よりもコスト削減が見込めると考えられる。
参画意向・参画に際しての課題について	参画意向		是非参加したい…3社、条件次第では参画する…9社（条件：事業スキーム、事業体制、収益施設の条件等による）
	参画する場合の役割	※複数回答可	代表企業として参画予定…5社、構成企業として参画予定…7社、協力企業として参画予定…4社、その他…2社（現況ではまだ判断できない）
	本事業で担当する業務範囲	※複数回答可	設計…4社、建設…4社、デベロッパー…1社、金融…0社、運営管理…5社、その他…3社（統括管理、SPCマネジメント、商業デベロッパーとしてのテナント誘致等）
	参画検討にあたり、開示が必要な資料・データ		ボーリングデータ、測量図、既存建物資料、たきかわ文化センターにおける過去の利用実績・事業の実績

＜民間収益施設の導入可能性＞

- コンビニエンスストアについては、店前に駐車場(専用)を必須としている現状からも、(仮称)駅前交流施設敷地内の整備は難しい。
- 民間収益施設については、立地条件等からも実現性の高い積極的な提案や参画意向はなく、独立採算も見込まれず、単独出店の可能性は低い。一方、DBO方式による事業において、運営事業者との連携による出店の可能性はある。

＜事業手法・参画意向及び条件＞

- (仮称)駅前交流施設、(仮称)駅前野外交流広場については、PPP手法のうち、DBO方式が望ましいとの意見があり、参画意向もあることから実現の可能性がある。
- (仮称)交流広場、(仮称)まちなか自由空間については、公共によって物件取得、解体、整備を実施しなければ、民間事業者による参画の可能性は低い。

＜今後に向けて＞

- 引き続き民間事業者との対話を実施しつつ、民間事業者の参画を促すような検討が必要。
- 事業手法の選定にあたっては、管理運営に必要な費用も含めた全体事業費による比較検討のほか、運営によるサービス水準等も考慮した上で、選択することが必要。

参考資料3 Webアンケートの結果

滝川駅周辺地区再生整備事業について、幅広くご意見・アイデアを募集するため、web上で意見を記入することができるアンケートを実施しました。

【実施時期】 令和6年9月9日（月）～10月11日（金）
【意見数】 106件

＜1. 施設利用に関する質問＞

あなたは、新たに建設される駅前交流施設や駅前野外交流広場において、どのような活動や利用をしてみたいと思いますか？
（例）・ホールで吹奏楽の練習がしたい ・交流ロビーで勉強したい ・交流ロビーと野外交流広場が一体となったイベントをしたい など

～主な意見概要～

【イベント】

- 若者から高齢者まで多世代が楽しめるイベントや、音楽・スポーツ・子ども向けの体験活動などを通じて交流できる場を求める声が多くあります。

【子どもの遊び場・キッズスペース】

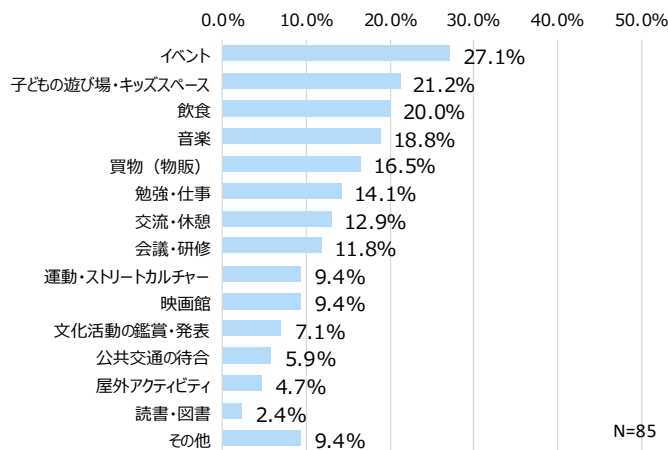
- 年中通して子供が安全に遊べる室内施設やイベント、フリースペースの必要性、地域内での買い物・カフェ併設の要望が多くあります。

【飲食】

- 休憩や待ち時間に利用できるカフェや軽食スペース、子連れでも安心なカフェ、地元特産品の提供やイベントなど、気軽に利用できる飲食施設の要望が多くあります。

【音楽】

- 地域住民が利用できる音楽ホールの必要性、特に吹奏楽や合唱、バンド活動の場を求める声が多く、学生向けの練習スペースや演奏会の開催に適した施設が求められています。



＜3. 駅周辺地区全体に関するご質問＞

「歩きたくない まちづくり」を推進するためには、どのように整備や工夫が必要だと思いますか？（ベルロードを歩きたくないアイデア、工夫等）
（例）・交流広場から駅前野外交流広場で実施されるイベントが見える ・週末の歩行者天国 ・まちなか自由空間と交流広場によるキッチンカーイベントの同時開催 ・まちなか自由空間と交流広場における特色の差別化 ・スタンプラリー など

～主な意見概要～

【イベント・催し】

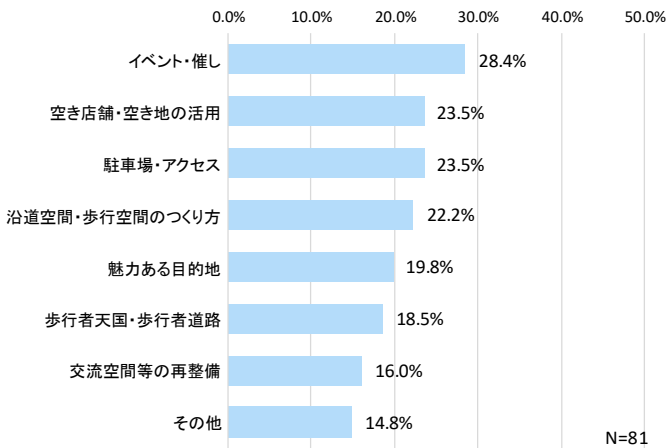
- ベルロードを利用した歩行者天国やキッチンカー、子供を中心としたイベントなどの定期開催などの意見が多いです。

【空き店舗・空き地の活用】

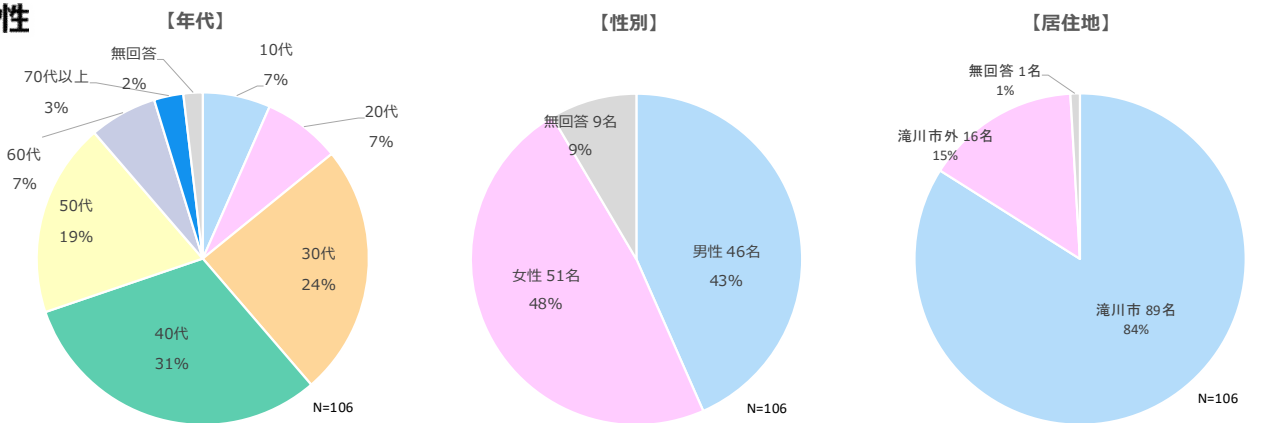
- チャレンジショップや飲食店の開業資金支援、無償貸与を求める意見が多く、地域の集客を図るための施設整備や活気を取り戻すための工夫が必要とされています

【駐車場・アクセス】

- 無料または低価格の駐車場の設置、駅からのアクセスを良くするための歩道整備、家族連れが訪れやすい環境作りが求められています。また、イベント時の駐車場確保の重要性も指摘されています。



回答者属性



＜2. 施設づくり、運営アイデアに関する質問＞

駅前交流施設が「私たちの居場所」として、常に賑わいや交流が生まれ、皆さんが気軽に行ける、行きたくなる場所、居心地のいい空間になるためには、どのような工夫、施設運営がされていると良いですか？（空間づくり、施設運営のアイデア等）
（例）・まちなかイベントの拠点 ・Wifi環境の整備 ・野外広場とロビーの一体化 ・BGMが流れている ・ロビー内のプライベート空間確保 ・学校の課外活動やクラブ活動の拠点 ・学校祭による利用 など

～主な意見概要～

【設備・備品】

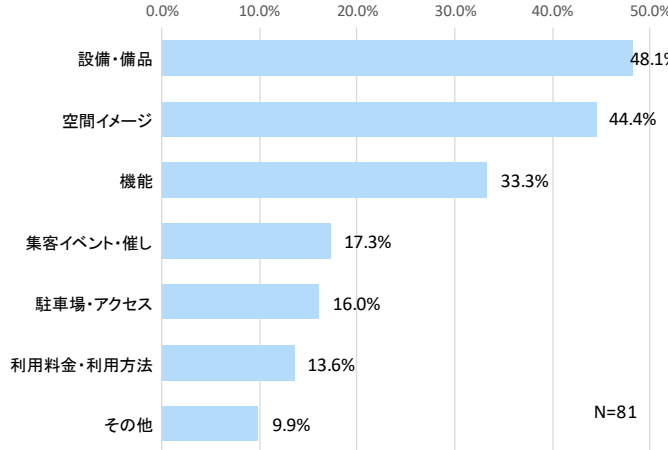
- 広い駐車場、Wi-Fi、清潔で使いやすいトイレ、授乳室、待合スペース、災害時の備蓄や避難スペースなどの要望が多く、利用者が快適に過ごせる充実した設備を求める声が多くあります。

【空間イメージ】

- 誰でも気軽に利用できる開放的かつ利便性の高い空間を求める意見が多く、自然光や観葉植物を取り入れたデザイン、子供の遊び場、カフェスペース、アートや創作ができるスペースなど快適な空間を希望している意見が多くあります。

【機能】

- 駐車場や交通手段の整備、防災機能の付加、イベントホールや多目的スペース、カフェやWi-Fiなどの利便性のある設備が求められており、多世代が快適に利用できる施設づくりへの要望が多く見られます。



＜4. その他全般に関するご質問＞

その他、基本構想や中間報告、駅周辺整備事業全般に対するご意見やアイデアがありましたらご記入ください。

～主な意見概要～

【駅周辺整備へのご意見】

- 駅周辺の商業施設や文化施設の充実、観光地の連携、活気ある空間づくりの必要性が指摘されています。

【交通・アクセスに関するご意見】

- 駐車場不足や交通渋滞対策、アクセス改善、観光周遊バスの導入が求められています。

